

年末年始は慌ただしさが増す季節で、飲酒の機会も増えます。飲酒に起因する交通事故は毎年多く発生しています。飲酒をすると、多くの人は気が大きくなり、注意も散漫になります。歩行中に無理な道路横断をしたり、泥酔状態で道路に寝込んだりして事故に巻き込まれることもあります。

一方で酒を飲んで運転すると集中力が低下しているので①反応時間が遅れる②ハンドルやブレーキ操作等がう

飲酒交通事故の防止

まくできなくなるなどと言われています。飲酒運転は、厳しい処分となることはもちろん、事故を起こすと一生後悔します。酒を飲んでいることを知って車両を提供したり、同乗し

たりした者や、酒類を提供した者も厳しい処分を受けます。飲酒運転は「しない・させない・見逃さない」を徹底し、飲酒事故が起きないように、社会全体で取り組みましょう。



交通安全ロメモ